

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公開番号】特開2012-133042(P2012-133042A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-283778(P2010-283778)

【国際特許分類】

G 03 G 15/00 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 303

G 03 G 21/00 372

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月20日(2013.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力した画像データを印刷するために用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更するか否かについて、前記入力した画像データに対応付けられている情報を用いて判定する判定手段と、

前記判定手段により用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更すると判定されると、

転写体における前記第1の用紙に対する記録剤の転写位置と前記転写体における前記第2の用紙に対する記録剤の転写位置との間にパッチパターンを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成されたパターンの測定結果を用いて、印刷される前記画像データの濃度を補正するための補正テーブルを作成する補正手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

入力した画像データを印刷するために転写体から用紙に記録剤を転写する転写手段と、前記転写手段による転写の際に、用紙に対する処理が終了してから次の用紙に対する処理を始めるまでにかかる時間である紙間時間が延長される処理が実行されることが検知されると、該検知された処理の実行により発生した紙間時間を算出する算出手段と、

前記算出手段により算出された紙間時間が予め設定された時間よりも長い場合、前記転写体にパッチパターンを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成されたパッチパターンの測定結果を用いて、印刷される前記画像データの濃度を補正するための補正テーブルを作成する補正手段と

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

前記紙間時間が延長される処理とは、前記入力したデータを印刷する際に、画像処理部において施される処理であり前記算出手段は、前記入力したデータに付加された情報から、前記処理を施すのに掛る時間を算出することを特徴とした請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記紙間時間が延長される処理とは、前記入力したデータを印刷する際に、画像形成部において施される処理であり、該処理の実行されるタイミングを検知するため、前記画像形成部のステータスを定期的に確認することを特徴とした請求項<sub>2</sub>に記載の画像処理装置。

【請求項5】

入力した画像データを印刷するために用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更するか否かについて、前記入力した画像データに対応付けられている情報を用いて判定する判定ステップと、

前記判定ステップにより用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更すると判定されると、

転写体における前記第1の用紙に対する記録剤の転写位置と前記転写体における前記第2の用紙に対する記録剤の転写位置との間にパッチパターンを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより生成されたパターンの測定結果を用いて、印刷される前記画像データの濃度を補正するための補正テーブルを作成する補正ステップと、

を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項6】

入力した画像データを印刷するために転写体から用紙に記録剤を転写する転写ステップと、

前記転写ステップによる転写の際に、用紙に対する処理が終了してから次の用紙に対する処理を始めるまでにかかる時間である紙間時間が延長される処理が実行されると検知されると、該検知された処理の実行により発生した紙間時間を算出する算出ステップと、

前記算出ステップにより算出された紙間時間が予め設定された時間よりも長い場合、前記転写体にパッチパターンを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより生成されたパッチパターンの測定結果を用いて、印刷される前記画像データの濃度を補正するための補正テーブルを作成する補正ステップと

を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項7】

前記紙間時間が延長される処理とは、前記入力したデータを印刷する際に、画像処理部において施される処理であり、前記算出ステップは、前記入力したデータに付加された情報から、前記処理を施すのに掛る時間を算出することを特徴とした請求項<sub>6</sub>に記載の画像処理方法。

【請求項8】

前記紙間時間が延長される処理とは、前記入力したデータを印刷する際に、画像形成部において施される処理であり、該処理の実行されるタイミングを検知するため、前記画像形成部のステータスを定期的に確認することを特徴とした請求項<sub>6</sub>に記載の画像処理方法。

【請求項9】

請求項<sub>5</sub>乃至<sub>8</sub>に記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本出願の発明は、前述の課題の解決を目的としたものであり、入力した画像データを印刷するために用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更するか否かについて、前記入力した画像データに対応付けられている情報を用いて判定する判定手段と、前記判定手段により用いられる用紙の種類が第1の用紙から第2の用紙へ変更すると判定されると、転写体における前記第1の用紙に対する記録剤の転写位置と前記転写体における前

記第2の用紙に対する記録剤の転写位置との間にパッチパターンを生成する生成手段と、前記生成手段により生成されたパターンの測定結果を用いて、印刷される前記画像データの濃度を補正するための補正テーブルを作成する補正手段と、を有することを特徴とする画像処理装置。